

SAKURA

Since 2013



Vol.38
11・12月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



春風亭ぴっかり☆



柳家小せん



橘家文蔵



入船亭扇辰



鏡味千代(太神楽曲芸師)

笑おう、今年も来年も 豪華真打と華の女流が勢ぞろい!

== INDEX ==

Pick Up Artist

「新春さくらプラザ寄席」出演 落語家

柳家小せん、春風亭ぴっかり☆

「名曲サロン Vol.22

6手のためのピアノ連弾」出演 ピアニスト

秋山 有子、川田 将人、菊地 美涼

さくらプラザ 自主事業レポート

オープナー「真夏のこども探検隊」
こどものための芸術の学校 演劇ワークショップ
はじめて楽しむ歌舞伎
特待生ミーティング ～試演会～

連載

音楽の隠し味／白川 優希
音楽に酔う／Daryl Jamieson
ザルツブルグの思い出
男は背中で物語る 戸塚見返親仁

新春さくらプラザ寄席～其の漆～

読んで楽しい新春さくらプラザ寄席!

2020年1月5日(日)新春さくらプラザ寄席に出演いただく、出演者の柳家小せん師匠、春風亭びっかり☆さんに新春寄席に向けてのメッセージや、ご自身のルーツについてお話を伺いました。

柳家小せん／やなぎやこせん



1997(平成9)年2月 鈴ヶ舎馬桜に入門。
1997(平成9)年4月 前座となる。
前座名「わか馬」。
2000(平成12)年6月 ニツ目昇進。

「いただく」という目的は同じでも、座組のアプローチが違うのですね。どちらもご覧いただける方には、この《色》とでもいいますかね、空気感の違いも楽しんでいただけたらと思います。

—小せん師匠にとってニツ目とはどんな時代だったのでしょうか?思い出やニツ目になられた時のお気持ちを聞かせてください。

ニツ目になった時は、とにかく嬉しかったですね。前座の頃にはまるで無かった《自由》を手に入れるわけですから。拘束がなくなる代わりに、仕事も、それほど無い。有り余る時間をどう使い、芸人としてどう生きていくか。《自由》というものの恐ろしさをじわじわと感じながら足掻いていた、そんな時代でしょうか。

—女性の落語家さんが増えてきて、良い方向に変わったことを教えてください。

楽屋が華やいだ、というのはあるでしょうね。(別にそれまでが淀んでいたという訳ではありませんけれど。)女性だから、男性だから、いいとか悪いとかいうことはなく、芸人は一人ひとりの個性ですから……。お客様にとっては、好みの芸人を見つける、選択肢の幅が広がったという点では、良いことだと思われそうです。

—今の時代、動画など様々な物で気軽に落語を楽しめるかと思いますが、生だからこそ楽しめるポイント等を教えてください。



以前のインタビューより

落語は、噺家が演じて完成というものではありませんのでね。こちらが提示したものに、お客様が何かしらの反応してくれる、それを受けて発信の仕方も変わってくる……ということを積み重ねていき、聞き手の心に何かしら届いて、世界感を想像出来たり笑っていただければ、ひとつの完結。それをまた積み重ねて……というものだと思います。「ライブ感」「一体感」、言葉にすると漠然としてしまいますが、時間・場所を共有して同じ空気を吸う環境で、お互いで《場》を作り上げていくということが、生でお聴きいただく楽しみのひとつでしょう。

—落語の楽しみ方というのは色々な楽しみ方があるかと思いますが、小せん師匠のおすすめの楽しみ方を教えてください。

前項の答えが、ひとつの例ですが、楽しみ方は人それぞれ。いろんな楽しみ方があるでしょう。人の「楽しみ」を妨げない限り、好き好きでいいと思います。

—お客様に向けてメッセージをお願いいたします。

年始の忙しい最中、時間を割いてお出でいただくお客様に、決して損はさせない、という所存で臨みます。楽しんでいただけたら幸いです。



春風亭びっかり☆／しゅんぶうていびっかり☆



2006(平成18)年11月春風亭小朝に入門。
2007(平成19)年6月前座となる。
前座名「ぼっぼ」。
2011(平成23)年11月ニツ目昇進
「びっかり☆」と改名。

—落語家を目指す前は幼い頃に観たことがきっかけでミュージカル女優を目指していたというコラムを拝見しましたが、どのような作品だったのでしょうか?また、おすすめの作品はございますか?

春風亭びっかり☆(以下、略):

幼稚園にきた移動ミュージカルで「長ぐつをはいた猫」を観たのが最初のミュージカル体験。こどもながらにとてもワクワクしたのを覚えています。もう少し大きくなってからは、母とよく観に行った宝塚歌劇。涼風真世(すずかぜまよ)さんが憧れでした。宝塚のレビューは最高ですよ!

—突然落語の世界に入られたということですが、興味を持つきっかけとなった演目、落語家さんはいらっしゃいますでしょうか?



落語に興味を持ってたくさんの噺家を聴くようになりましたが、やはり師匠である春風亭小朝の、華のある高座に特に魅かれました。

—ニツ目昇進後はファッションも自由になるというお話を読みました。御着物や髪型など大変おしゃれですが、こだわりを教えてください。

全然おしゃれじゃないです(笑)。着物は男着物ですが、明るいイメージのものを選ぶようにはしています。髪型は、ひと目で覚えてもらえるようにと師匠のすすめもあって、ニツ目昇進以来、もじゃもじゃ頭を続けています。戸塚の皆さんにも覚えていただけたらうれしいです。



—以前にさくらプラザ・ホールでご出演いただいておりますが、どのような印象をお持ちですか?

たしか、師匠である小朝の独演会ではなかったでしょうか。温かく迎えていただき、うれしかったことを覚えています。

—今の時代、動画など様々な物で気軽に落語を楽しめるかと思いますが、落語を生だからこそ楽しめるポイント等を教えてください。



これはもう、同じ時間を共有する空気感に尽きるのではないのでしょうか。ぜひ寄席や落語会に、たくさん足を運んでいただきたいです。

—新春寄席に出演される皆様(橘家文蔵師匠、入船亭扇辰師匠、柳家小せん師匠、鏡味千代様)について印象をお聞かせください。

新春から、大人気の「三K辰文舎(さんけいしんぶんしゃ)」(文蔵師匠、扇辰師匠、小せん師匠によるユニット)のお三方が揃われるとはおめでたい! 三人ともカッコイイ、素敵な先輩方です。さらに、私と一緒に男装ユニット「輝美男五(きびだんご)」としても活動している味千代さんが一緒に、とっても心強いです。



(一番左)鏡味千代様、(真ん中)春風亭びっかり☆様

—お客様に向けてメッセージをお願いいたします。

笑う門には福来るといいます。たっぷり笑って素晴らしい一年をスタートしてください。

—今後の夢、目標を教えてください。

将来は、皆さんに愛される、ほのぼのした“おばあちゃん落語家”になりたいなあ。まずは真打をめざして精進いたします。応援よろしく願います。

(構成:近藤 喬之)

—小せん師匠が感じる「さくらプラザ新春寄席」の魅力はどんなところでしょうか?

お正月という時期のおかけもあってか、どことなく華やかなのですよね、客席が、べつに晴れ着の方がいるという訳でなくても、お客様全体が、なんとなくうきうきしているような感じがします。

—秋のさくらプラザ寄席にもご出演いただいておりますが、秋寄席と新春寄席両方を観る楽しみはどんなところでしょうか?



秋寄席出演者(左から):柳家小せん、靈気楼龍玉、三遊亭鬼丸、林家さく鷹、入船亭扇里

新春寄席は、腕っこきの先輩や新進気鋭の後輩を頼んで、色物さんも入れて華やかに。一方、秋の公演は同期が揃うので、気兼ねなく各々が好きなように。「お客様に楽しん

新春さくらプラザ寄席 ～其の漆～
2020年1月5日(日)13:30開演
出演:橘家文蔵、入船亭扇辰、柳家小せん、
春風亭びっかり☆、鏡味千代(太神楽曲芸師)
*詳細は裏表紙をご覧ください。



pick Up Artist ② 名曲サロンVol.22 ギルツブルクでともに学んだピアニストたち

あきやま ありこ かわた まさと きくち みすず

秋山 有子・川田 将人・菊地 美涼

～6手で1台のピアノを奏でる～

2019年9月から情報誌SAKURAにて連載『ギルツブルクの想い出』を担当しているピアニスト秋山有子さん、川田将人さん、菊地美涼さんへ、名曲サロン シリーズVol.22に向けての想いを伺いました。ギルツブルクで共に音楽を学び、帰国後はそれぞれに活躍している3人が、再びさくらプラザに集結します！



秋山 有子 Ariko Ariyama

フェリス学院大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了。フェリス音楽教室講師を経て、オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルト音楽大学に留学。第15回エウテルペ音楽コンクール(タリヤ)第2位、第11回パドヴァ国際コンクール(タリヤ)第2位、2014年3月福園、北川隆子、スタン・フォードの各氏に師事。2015年銀座・王子ホール、2018年ヤマハホールにてソロリサイタル開催。洗足学園音楽大学演奏補助要員。

—ピアノグランプリ2018優秀賞受賞から1年が経ちました。その後、ご自身の中で変化したことはありますか？

ピアノグランプリでは、現役の著名な演奏家の方々から評価して頂き、少なからず自分の解釈の自信に繋がっています。また、受賞者演奏会にお越しいただいたお客様がほかのコンサートにいらしていただく事も、とても嬉しく思っています。同時に、時間の許す限り一つ一つの舞台に様々な工夫と準備をして臨み、お客様に楽しんでいただきたいと思います。

—今回の公演で、お気に入りの曲はありますか？

正直なところ、まだこれから向き合っていく曲ばかりなので、特にお気に入りはありません。しかし、留学中、オペラの名演に数多く出会うことが出来ました。モーツァルトでは、これから始まるドラマの喜怒哀楽がすべて詰まった序曲の魅力を伝えられるようにしたいですね。

—川田さんにとってピアノを弾くことの喜びとは？

聴き手との共有です。音楽と向き合っていく中でその作品の持つ魅力と出会い、それを具現化することで聴き手と共有し、喜びを分かち合いたいです。簡単なことではありませんが、今まで私に影響を与えてくれた音楽家たちがそうであったように、私もそのようになりたいと思っています。



菊地 美涼 Misuzu Kikuchi

埼玉県出身、ヤマハマスタークラスに在籍後、ザルツブルク・モーツァルト音楽大学にて研鑽を積み、在学中にモーツァルトプライズ2011にて第1位を受賞。同大学院ソリスト課程を最優秀の成績で卒業。エトリング国際青少年ピアノコンクールA部門第1位等、幼少の頃より数多くのコンクールで優秀な成績を収める。帰国後は演奏活動を活発に行う他、後進の指導にもあたる。デビューアルバム「Mozart Favorite Piano Works ピアノソナタ第13番～モーツァルト作品集」をリリース。

—今回の演奏会での聴きどころを教えてください。

やはり1台6手という珍しい編成でしょう！連弾もそうなのですが、元々は初心者の教育目的で考え出された編成ですので、「演奏会でお聴かせするような曲があるのか？」と3人で手分けして探しました。幸いツェルニーが、技巧的で大規模な曲を残してくれていたのです、そこから馴染みのあるテーマを持つもの・オーストリアに縁のあるもの(ツェルニー自身がオーストリア人ですが)を選ぶことができました。1台のピアノを3人並んで弾くとどうなるか、耳だけでなく目でも是非楽しんでください。

—1台6手の連弾はあまり聴き馴染みがないですが、どのように練習するのでしょうか？

アンサンブル全般の話になりますが、まず自分のパートをマスターするべく一人で練習し、その上で皆で集まって一緒に合わせるようになります。同じ楽譜を見て同じゴールを目指していても、各人で微妙なアプローチの差などが出てくるので、合わせ練習の時に皆で調整していきます。私は声楽家や他の楽器の方と共演することが多いですが、今回は全員がピアニストなので、いつもより細かい調整が必要になってくるんじゃないかと思えます(笑)

—秋山さんにとってピアノを弾くことの喜びとは！？

自分が弾くことに意義が見出せず、学生だから勉強しなきゃと義務になっている時期がありました。どうやって吹切れて専門家になったのか、自分でも明確には分からないですが(笑)、アンサンブルを通して色々な方の音楽に触れられたのが大きいかんと思っています。演奏を通して、年齢や言葉の壁を越えて、たくさんの方のことを学ばせてもらいました。今はただ演奏できるのが楽しいです。



川田 将人 Masato Kawada

佐野日本大学高等学校、日本大学芸術学部音楽学科ピアノコースを卒業後、モーツァルト音楽大学ピアノ演奏家課程にて学ぶ。2015年フランス・リスト・ヴァイマル音楽大学・修士課程ピアノ・歌曲伴奏科に入学。2017年同大学院をピアノソロ・歌曲伴奏共に最高点を獲得し修了。Citta di Rocchetta国際ピアノコンクール第2位、Rome Grand Prize Virtuoso国際音楽コンクール第2位等、国際コンクール入賞を重ね、BCCローマ銀行より奨学金を得る。2018年9月文化庁/日本演奏連盟主催、リサイタルシリーズ「東京文化会館」に出演。ピアノグランプリ2018優秀賞を受賞し、さくらプラザ主催 ピアノグランプリ2018受賞記念演奏会に出演。中村学園大学・同大学短期大学部、非常勤助手。

—以前、名曲シリーズにて、オール・シューベルト公演を開催し、その他多くの演奏会にご出演されています。ソロと異なる連弾の楽しみを教えてください。

連弾などのアンサンブルの楽しみは、奏者それぞれの音楽がぶつかり合って刺激となり、新たな音楽が生みだされる所だと思います。お互いの感性を尊重しつつ一つの音楽を作り上げていくというのは難しくも面白い所だなと感じています。また、ピアノというのは他の楽器に比べても基本的に1人で孤独にピアノに向き合う時間が多いかと思うので、練習の過程でも音楽でコミュニケーションをとり合えるというのが、演奏する側としてもとても楽しいです。

—今回ご出演の3人で演奏することは初めてでしょうか？ 菊地さんから見て、それぞれどんな個性がありますか？

3人で6手というのは初めてです。お2人それぞれとコンチェルトの伴奏をさせていただいたり、また演奏を聴かせていただいたりして、やはり門下は違えど、オーストリアで培われた音楽のしなやかさのようなものを核としてそれぞれが持っているのかなと感じています。そこに秋山さんにはお人柄がうかがえる温かさ、川田さんにはドイツで学ばれた力強さが音楽に出ているように思います。これらどんな化学反応が起きるのか楽しみです！

—菊地さんにとってピアノを弾くことの喜びとは！？

人生のテーマになりそうな難しい質問ですが(笑)、私にとってピアノを弾くということは話すことと同じような、あるいは口下手なのでそれ以上の大切な自己表現やコミュニケーションの1つになっているように思います。まず楽譜から時代を超えて作曲者の想いを読み取り、その音楽を自分の想いを通して聴衆に伝え、そしてその演奏が少しでも誰かの心を動かすことが出来た時、音楽をやっている良かったと感じます。

(取材・構成/山上 由布子)

さくらプラザ 自主事業 レポート 1

さくらプラザ オープンデー 2019

真夏の こども探検隊

おいでよ、おんぶの街♪

2019年 7月20日 9:30～16:00

ホール



夏休みファミリーコンサート「ROCOこどもじゃず」
シンガーソングライターのROCOさんによる童謡ジャズライブ。併催した手作りシェイカーワークショップにも多くのご参加をいただき、子どもたちはシェイカーを振りながらジャズのリズムを楽しみました！

リハーサル室



タクトどうぶつ園 「動物の筋肉祭」を聴いて指揮してみよう！
憧れの指揮者体験ができたこのイベント、小さな子どもたちも興味津々でした。フィナーレ演奏では、実際に参加したお友達の指揮でオープンデーの最後を締めくくりました。

練習室4



ダンボール工房「コンサートの風景をつくらう！」
イラストレーターの井上 ヤスミチさんのもとで、皆でコンサートの風景を作りました！ダンボールがこんなにカラフルで迫力のあるコンサートになるなんてびっくり！皆の作品は9月の初めまで、さくらプラザ受付前に展示されました。



ギャラリー



となり街 あっちこっちパーク

カラフルな花のプレスレットを作る「お花畑コーナー」、ROCOこどもじゃずの楽曲に合わせて踊る「ダンスコーナー」、この2つを体験、最後にはご家族の前でダンスを発表できる「スペシャルツアー」を開催しました！工作、ダンスと盛りだくさんだったこのイベントにも多くの子どもたちが参加してくれました。

練習室1



魔法使いエリーとヨーコのおんぶ工場 「リズムをつくってあそぼう！」

パーカショニストのエリーとヨーコのマリンバの演奏の鑑賞をしました。イベントの中では実際にマリンバの演奏体験もでき、小さいお友達から大きなお友達まで一緒にマリンバの音色に触れ、楽しみました！

練習室3



ボボンゴハウスのおしゃべりキッチン 「なんでもたいたいてみよう！」

オープニングを飾ったボボンゴハウスの3人は、しゃもじやまな板、ポウルなどの台所用品で見事な演奏を魅せてくれました。身近なところにもおんぶが潜んでいる……とてもワクワクしますね！



表紙イラストレーション 小川 かなこ

練習室2・館内



隠れき宝さがし

いたずら好きな小人たちが隠してしまったおんぶを集めて、秘密基地を探し出すこのイベント。さくらプラザめぐり、たくさんのお友達が秘密基地の場所を暴いてくれました！今回の景品は宝製菓株式会社様にご協力をいただき、まさに戸塚苑の「お宝」を探し出せたのではないのでしょうか？

館内にはフォトスポットもたくさん！



写真の提供:P.Nりっくんママ

以上、今回もお客様に楽しんでいただけるようにアイデアを凝らしたイベントを多く開催いたしました。「聴く」だけでなく、「見る」「触る」といった様々な形で「おんぶ」と触れ合っていただけたのではないのでしょうか？ 来年のオープンデーもお楽しみに！

名曲サロンVol.22 6手のためのピアノ連弾 ～ザルツブルクでともに学んだピアニストたち～
2020年2月14日(金) 第1回 11:30 / 第2回 14:30 開演

好評発売中

※詳しくは裏表紙をご覧ください。

こどものための 芸術の学校

演劇ワークショップ

2019年7月24日(水)～27日(土)
全4回
さくらプラザ・リハーサル室



はじめて楽しむ歌舞伎

「立ち廻り体験講座」 & 松羽目狂言「棒しばり」

2019年9月1日(日) 開催
さくらプラザ・ホール

2019年度前半の「こどものための芸術の学校」は、「誕生日」をテーマにした4日間の演劇ワークショップ！
集まった18名は、年齢も学校も住んでいる場所もさまざま。もちろんほとんどのこどもたちが初対面です。
舞台見学、からだや言葉を使ったゲームから始め、気がつけば初日から距離がグッと縮まっていた。
暑い夏、その4日間の軌跡を写真で追ってみます！

こどものための芸術の学校とは・・・

演劇・ダンス・パントマイム・落語・日本舞踊など、からだをつかったパフォーマンスをこどもたちが学ぶ場です。芸術活動に関心を持ち継続して学びたいと思った子どもたちが、専門的な教育を受けることが出来る年齢になるまでの間、自らの意志で、自主的に学ぶ機会を提供します。

俳優 有吉 宣人(ありよし のぶと)さん=ニックネーム「ありー」

劇団青☆組に所属する俳優。慶應義塾大学文学部入学と同時に演劇活動を始める。現在、青年団の平田オリザ氏のもと無隣館3期生としても活動中。また、東京都世田谷区の公共劇場世田谷パブリックシアターにて、演劇ワークショップについて学ぶ。進行役として、老若男女、様々な人々との演劇づくりを行っている。さくらプラザでは小学校へのアウトリーチ、アートバザール2019に出演。



さくらプラザ・ホールにて。
舞台上で簡単なゲームをしたあと舞台上で寝転び、ありーからテーマである誕生日の話の話を聞きました。



言葉を使わず、からだで物・事を表現するゲーム。
2人・3人と増やしていき、最後は全員で大きな
パースデーケーキを作りました！



3つのグループに分けて、
誕生日をテーマにした劇作り。
設定や役、セリフなどもどんどんアイデアを
出し合って決めていきます。みんな積極的！



最終日、いよいよ集まったご家族
約30名の前で発表！
少し緊張したけど大成功！



終演後、みんなでパチリ☆
「また会おうね！」と名残惜しくも解散しました。

4日間指導くださった有吉さんありがとうございました！
次回の芸術の学校は「ダンスシアターワークショップ」を、2019年12月に行います。

さくらプラザ 初の歌舞伎公演を行いました！ 演目は、能舞台のように大きな松を描いた背景を使い、狂言をベースにした演目である「松羽目狂言」棒しばり。前半は大名役 千川 貴楽(せんかわ きらく)さんと後見役のおふたりによる「立ち廻り体験講座」で、歌舞伎ならではの立ち廻りを解説いただきました。当日の舞台写真とお客さまからの声をお届けします！

第一部 立ち廻り体験講座

事前に申し込まれた、小学生から大人まで全14名の方に舞台上で体験いただきました。
「山型」「霞」など、なかなか難易度が高い……！しかし皆さん飲み込みが早く、様になっていました！
見栄を切ったときには客席から「日本一！」など掛け声をかけてもらい、歌舞伎役者の気分を味わえたのでは？



解説の千川 貴楽さん。後半は大名役で登場！



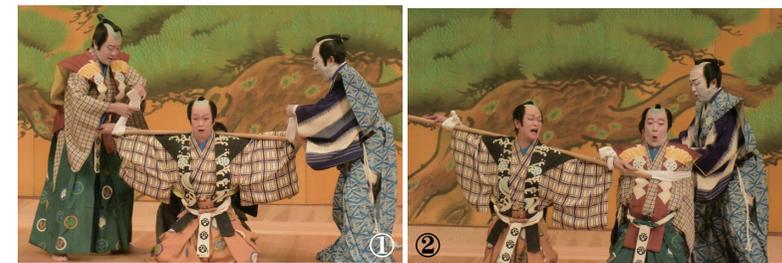
舞台上手(かみて/客席から向かって右側のこと)にはツケ打ちさん！
「ツケ」とは、演技を強調させるための歌舞伎ならではの演出法のこと。
附木と呼ばれる榎材と附け板と呼ばれる榎材でこの音を出す人を「ツケ打ち」と呼び、役者に合わせてタイミングよく打ちます！



パテッ！
パッターリ！

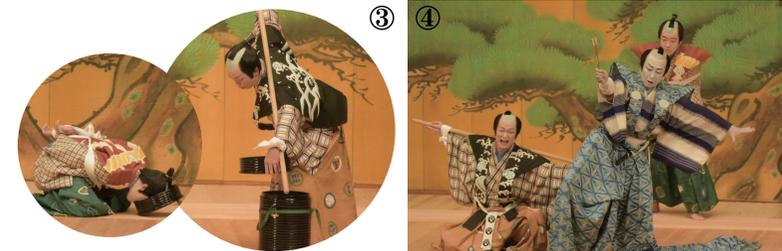
第二部 松羽目狂言「棒しばり」

大名が留守の間、家来の太郎冠者と次郎冠者はいつも酒を盗んで飲んでしまいます。そんなふたりのことが大名の悩みのタネ。そこで、身動きがとれないように縛り上げてから外出しますが、酒好きなふたりはどうするのか……。



太郎冠者に協力させ、まずは次郎冠者を棒に縛ります。自分は大丈夫！と思っていた太郎冠者も後ろ手に縛られ、結局ふたりとも縛られてしまいました……。

(左から)
次郎冠者(帆之丞さん) / 太郎冠者(花柳 琴田さん)
大名(千川 貴楽さん)



しかし酒好きのふたりはへこたれません！
どうか協力しあって、蔵へ忍び込み、お酒をグビグビ……。
アクロバティックで滑稽な表情・動きに、客席からも笑い声が上がります。

酔っ払ったふたりはついに楽しく踊り出し……。
そこへ大名が帰宅！酒を飲んだことに気づかれ、
結局怒られてしまうのでした。

【公演アンケートより抜粋】

☆踊りがすこかったです！ 着物を着て、縛られていて……と考えると、到底自分ではできない動きだと思いました。
☆全力で酔っ払いを演じる歌舞伎楽しかったです。
☆昔の言葉を使っていますが、とても聞きやすくてわかりやすかったです。

役者の皆さま、そして、ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました！
歌舞伎はみんなのもの。これからもぜひ、親しみをもっていただければ嬉しいです。

さくらプラザ特待生 第11回ミーティング ～試演会～



2019年10月15日(火)
17:30～18:30開催

さくらプラザ特待生は年2～3回さくらプラザに集まり、音楽について語り合うミーティングや、自分の演奏を他の特待生に聴いてもらう試演会などを通して自分の音楽に向き合い成長しています。今回は6組の特待生が演奏を披露してくださいました！

～プログラム～

1. 石橋 真美子 (ピアノ)
♪ モーツァルト／ロンド 二長調
2. 田邊 ゆり (チェロ)
♪ ポッパー／エチュード Op.73 第36番
♪ フレスコバルディ＝カサド編／トッカータ
3. 佐々木 奏歩 (ピアノ)
♪ ベートーヴェン／ピアノ ソナタ Op.78 「テレーゼ」
4. 進 絢瑛 (ピアノ)
♪ ベートーヴェン／ピアノ コンチェルト 第3番 第1楽章
5. 小林 萌香 (ピアノ)
♪ ショパン／ピアノ ソナタ 第3番 第4楽章
6. 石井 恵梨・小倉 馨 (ピアノ連弾)
♪ グリーク／ノルウェー舞曲 Op.35 第1番 二短調



さくらプラザ特待生の趣旨

感受性豊かな青少年期に優れた芸術に触れることは、とても重要で貴重な体験です。しかし、コンサートのチケットは高額なものも多く、鑑賞できる機会は限られます。特にプロの演奏者・表現者を目指す若者にとって、それは個人の体験以上にやがて彼らの表現活動によって市民へと還元される「未来の社会への投資」でもあります。優れた演奏に触れる機会が少しでも多く得られるよう、さくらプラザ主催事業を無料で提供しています。

音楽の隠し味 Op.3

このコーナーでは、作曲家や有名曲の意外な一面を知ることによってクラシック音楽をより楽しめる「隠し味」をご紹介します。

ピアニスト 白川 優希

第3回目は ショパン です。

ショパンはピアノ曲に特化したポーランド出身の作曲家です。あまりにも美しいメロディーは、今でも世界中の人々を魅了し「ピアノの詩人」と呼ばれています。実際、彼は曲が完成するまで部屋の中を歩きまわり、ペンをダメにするほど何度も書き直して完璧な美を目指しました。しかし、彼のこだわりは音楽だけではありません。日常にも美を求めています。今回はそんなショパンの「生活環境」が隠し味です。

こんなエピソードがあります。彼が29歳の時、フランスのパリに新しい住まいを探していました。そこで、物件探しとインテリアコーディネートを、パリに住んでいた親友のユリヤン・フォンタナに依頼していたのですが、その時の理想とする住まいの条件がすごいものでした。「適当な客間と食堂、かなり大きなキッチン、寝室3つに召使いの部屋2つと地下室。寄木細工の床(もちろん新しいデザインで良質なものを)。部屋は中庭に面して庭が見えるように。日当りは絶対南向きで。立地は落ち着いていて静かで近所に鍛冶屋がないこと。』『都心7LDK以上日当たり良好で庭付きグランドピアノ可物件』とは、なんて贅沢条件でしょうか……。

というのも、彼は直前まで住んでいたスペインの家について「丸天井は埃だらけ、机は簡易ベッドの横にあり小さく薄汚れている。このような環境で作曲する気になれるはずがない」と愚痴をこぼすほど、作曲をする上で住まいを重視していたのです。

そして、ユリヤンはこの難題に見事答え、「9区トロンシェ通り5番地」に希望のアパルトマンを見つけます。ショパンは「君は非常に貴重な人だ！ 最良で最高に完璧です。」と大喜びしたといいます。残念ながら、彼の美意識を象徴するパリの家は、現在チョコレートショップやブーツ専門店の並ぶ洒落たブティック街になっています。ショパンのこだわりは立地や間取りに留まらず、インテリア

※参考文献

アーサー・ヘドレイ編 小松雄一郎訳(1965)『ショパンの手紙』白水社、伊熊よし子(2010)『図説ショパン』河出書房新社、小坂裕子(2018)『ショパン』音楽之友社



白川 優希 Yuki Shirakawa

横浜市立南高等学校普通科卒業。桐朋学園大学ピアノ科卒業。井上節子、川島伸達各氏に師事。テレビ朝日系列「はじめまして、愛しています。』『警部補・碓氷弘一シリーズ』殺しのエチュード/マインド」ピアノ/監修。フジテレビ系列「世にも奇妙な物語」シンクロニシティ』ピアノ/協力。また、自身の企画で戸塚さくらプラザと泉区民文化センターにて「オペラ紙芝居」を開催。戸塚さくらプラザのイベントに多数出演。

に対しても彼の美意識は炸裂します。「壁紙は前に僕が使っていたような、キジバト色(ページがかった明るい灰色)で光沢のあるものにして下さい。艶があり細く濃い緑色のひだで縁取ったもの。玄関は何か違う色にしてください。」また、色へのこだわりも強く持っており、「僕は真珠色が好きなんだ。けばけばしくも平凡でもないからね。ありきたりなものよりサッパリした、落ち着いた清潔なものが良い。」と発言しています。そして、ショパンは部屋の中に必ず生花を飾りたがりました。美しいものが常に視界に映るようにしたかったのです。実は、パリから車で3時間ほどのベリー地方に「ノアンの館」という彼がよく訪れ、全作品中3分の2が作られたとされる住居があります。そこでは今でも当時の様子が再現されているので、彼の美的な好みを垣間見ることが出来ます。

以上のことから、洗練、上品、優雅を求める美意識は音楽だけでなく、生活を送り作曲を行う環境にも表れていたことが分かります。生活環境で美の追求はショパンの美しいメロディーへの隠し味となっているのではないのでしょうか。



ショパン

① おすすめの一曲

ショパン / 練習曲 第3番 ホ長調 Op.10-3 「別れの曲」

彼が最も気に入っていた曲と言われていて、「自分の人生の中でこんなに美しいメロディーは書いたことがない!」といった逸話があります。「chopin Op10-3」で検索すると様々な録音が出てきますが、私はアシュケナーズ(Ashkenazy)とポリニ(pollini)の録音をよく聴いていました。弾く人によって解釈が分かれ、同じ曲でも全く違って聴こえるので是非試してみてくださいね。

さくらプラザで聴けるショパン公演♪

- 若林 顕セルフプロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ「ショパンを巡る旅 2018-2020」
- Vol.9 2019年11月29日(金) 祖国ポーランドよ、永遠に
 - Vol.10 2020年1月31日(金) オペラから生まれたヴィルトゥオジティ
- 各回19:30開演 チケット好評発売中!

※詳しくは裏表紙をご覧ください。

さくらプラザアートマネジメント講座IX告知

シンポジウム

『誰も取り残さない』社会を達成する

劇場経営

SDGs×劇場

日程 2020年1月23日(木)

時間 14:00～17:00 ※受付開始・開場は30分前 終演時間は多少前後する場合がございます。

会場 さくらプラザ・ホール

タイムテーブル

●第I部 (14:00～15:20)

基調講演 I

『地域発のSDGsの取組みと経営への活用について』

山口健太郎 (神奈川県理事 (いのち・SDGs担当))

基調講演 II

『準公共財としての劇場音楽堂の運営について』

高萩宏 (東京芸術劇場副館長)

●第II部 (15:30～17:00)

パネルディスカッション

『包摂社会を達成する劇場経営の在り方とその未来』

モデレーター

若林朋子 (立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科 特任准教授)

パネリスト

山口健太郎 (神奈川県理事 (いのち・SDGs担当))

高萩宏 (東京芸術劇場副館長)

植松侑子 (合同会社 syuz'gen 代表社員、特定非営利活動法人 Explat 理事長)

※出演者・内容は予告なく変更になる場合がございます。



2030年に向けて世界が定めた「持続可能な開発目標」です



本ホームページへ申込フォーム

申込方法

●2019年11月25日(月)14:00より受付開始

●下記のいずれかの方法にて、【所属】【参加者名】【電話番号】【参加人数】をお知らせください。

▶窓口：当館受付にて直接お申し付けください。(営業時間9:00～21:00)

▶電話：045-866-2501 (9:00～21:00)

※休館日：12月10日(火)、12月29日(日)～1月3日(金)、1月14日(火)

17時閉館日：12月28日(土)、1月4日(土)

▶ホームページ内申込フォーム：https://totsuka.hall-info.jp/event/symposium20200123.html

●事前申込優先 ●定員300名 ●定員に達し次第受付終了



作曲家ゼミソン・ダリルの
聴き飲みメモ

vol.3



ブラームス — 名曲として知られる子守唄を別として、万人向けとは言えない作曲家かもしれません。ショパンのようなロマンス、ブルックナーの恍惚といったものを欠いているうえ、彼の交響曲の管弦楽法は非常にヘビーです。歌曲においても熱情を爆発させることがなく、ブラームスの音楽には、一般に、取っ付きにくさがあると言えるでしょう。とはいえ、後期作品にはある種の突き抜けた、クリアな美しさと貫禄が備った室内楽作品が現れてきます。後期のピアノ作品とともに、3曲あるヴァイオリン・ソナタは、ブラームスの傑作に数えられています。



Daryl Jamieson(ゼミソン・ダリル)
鎌倉在住カナダ人作曲家、美学研究者。
東京藝大で学んだ。
一柳慧コンテンポラリー賞を受賞。
「工房・寂」主宰。



<http://daryljamieson.com/jp/>

感情を抑えた、ちょっと古風で軽やかな彼のヴァイオリン・ソナタの全曲が12月21日、さくらプラザ・ホールでヴァイオリニスト鈴木 理恵子氏とピアニスト若林 顕氏によって演奏されます。ブラームスに合わせる飲み物は何にしましょうか？ 伝統があって複雑で、身も心も暖まる飲み物といえば？ 演奏会の日は冬至。気温も下がり、年の瀬も近い日。飲んで何か慰められるような飲み物が良いですね。

私にとっての正解は、名前を聞くだけに懐かしい「エッグノッグ」です。この甘く、重く、リッチな飲み物は、いわばアルコール入りのカスタード。欧米でも国ごとにレシピが異なっていますが、以下に紹介するレシピはイギリス式。一番美味しいと私は思っています。

エッグノッグは、日本ではなかなかお目にかかれないメニューですから、一番確実なのは自分で作ることです。二個の卵黄と25gの白砂糖を、色が明るくなるまで泡立てます。そこへ300mlの生クリーム(乳脂肪分35%のもの)と、150mlのアルコール(バーボン、スムーズな味のウィスキー、ラム、甘いシェリーなど、自由に選びます。混ぜても結構です)を加え、泡立てます。別のボールに、泡立て器で二個分の卵白を緩く立つ程度に泡立て、25gの白砂糖を加えて同様にふんわり泡立てます。この卵白に先程のクリームとアルコールを加えてゴムベラで優しく混ぜ合わせ、グラスに注ぎます。仕上げにナツメグパウダーを振れば完成。

滑らかでずっしり重く、温かなエッグノッグは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタに完璧にマッチするでしょう。さあ乾杯!



今回取り上げられた公演がお楽しみいただけます。
鈴木理恵子 室内楽シリーズ Season2 Vol.11
至高のデュオ ブラームス ヴァイオリン・ソナタ全曲集
2019年12月21日(土)14:00開演
全席指定 一般 3,000円/ペアチケット 5,000円/学生 1,500円

【出演】鈴木 理恵子(Vn)、若林 顕(Pf)



2020年2月14日に行われる「名曲サロン Vol.22 6手のためのピアノ連弾 ~ザルツブルクとともに学んだ ピアニストたち~」に出演される3名のピアニストが音楽留学先での思い出を全3回に渡り紡いでいきます。第2回目は帰国後ソロはもちろん、伴奏でもご活躍中のピアニスト 秋山有子さんです。



私にとってザルツブルク留学は、音楽的な学びはもちろん、モーツァルトが暮らした町で実際に生活するという意味で、とても意義のあることでした。今回は現地の生活の中から冬のイベント・クリスマスマーケットについてご紹介したいと思います。キリスト教圏では、11月下旬からクリスマスまでの約4週間をアドヴェント(待降節)と呼びます。この時期に街の広場で毎日開かれているのが、クリスマスマーケットです。ツリー飾りなどのクリスマスグッズを扱う露店の他、食べ物の出店が多く、日本の縁日のヨーロッパ版のような感じです。各マーケットで扱うものが微妙に違うのですが(それが個性的で面白いのです。)、香辛料や果物入りのホットワイン・グリューワインと掛付けのローストナッツ、それに焼きソーセージが、どのマーケットにもある大定番です。午後5時には真っ暗になってしまうこの時期、暗く長く厳しい寒さのヨーロッパの冬に彩を添えるイベントを、みな心待ちにしています。



↑留学仲間との楽しいひととき
左端:秋山さん、右端:2月に共演の菊地美涼さん



↑クリスマスマーケットの様子

ピアノ科の学生は楽器の性質上、一人で練習する時間が圧倒的に多いのです。学校での練習帰りに友達と待ち合わせてクリスマスマーケットに行き、グリューワイン片手に音楽談義をする時間は本当に貴重でした。今でもシナモンや焦げた砂糖のにおいを嗅ぐと、ふと当時の思い出が蘇り、「勉強大変だし寒かったけど、楽しかったな…」と懐かしくなります。そんな時間を共に過ごした仲間と演奏できるのが、今からとても楽しみです!



あきやまありこ
秋山有子 / プロフィール
フェリス女学院大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了。フェリス音楽教室講師を経て、オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルトウム音楽大学に留学。第15回エウテルペ音楽コンクール(イタリア)第2位、第11回パドヴァ国際コンクール(イタリア)第2位。2014年3月帰国。北川暁子、スタン・フォードの各氏に師事。2015年銀座・王子ホール、2018年ヤマハホールにてソロサイタル開催。

男は背中で物語る

戸塚見返親仁

其之
三十九



よしだや
吉田屋 本店 よしだ ひろし
店長の 吉田弘です。
和菓子の本物の味をお楽しみください。



親仁に逢いに逢おう!

吉田屋 本店
横浜市戸塚区戸塚町 3960
TEL. 045-881-0138
営業時間:
【月・水~金・土・祝前】
9:00~18:00
【日・祝】
9:00~17:00
定休日 火曜定休



ワンマン道最中

商店のご主人など、戸塚区内で働いている
オヤジ世代をご紹介します。

一吉田屋 本店の由来を教えてください。
大正三年にお爺さんが始めました。理由は知りませんが、亀谷さんという和菓子屋さんが戸塚にありまして、そちらに修行にいつて独立したようです。「本店」の由来はのれん分けをしたことがあったのでつけました。
一お店を継いだきっかけを教えてください。
家族経営のお店だったので、子どもの頃から手伝いをしていたので自然な流れですね。
一「おいしいものとかブランド」には選ばれている商品もございますが、商品のアイデアはどなたが考えているのですか?
「お菓子なとつかとうふ」は、以前私が似たような物を食べておいしかったので、吉田屋オリジナルを考えて作ってみました! 柚子の皮を薄切ったジャムを使用していて、香りが楽しめるこだわりのお菓子です。義兄と昔考えた「ワンマン道最中」も人気の商品です。これは当時の総理大臣 吉田茂さんが「戸塚大踏切」の渋滞回避の為に作った「戸塚バイパス」からアイデアを得たもので、タイヤの形をした最中です。

一お店のこだわりはどなたのところですか?
保存料・脱酸素剤は「お菓子なとつかとうふ」以外にしか使用しません。以前、カステラを長期間持たせたくて脱酸素剤を同封したのですが、カステラは卵の豊かな風味と味が無くなってしまったので止めました。ですから、買ったその日中にすぐに食べて欲しいです。世の中は消費期限の長いお菓子が増えていますが、うちはそうではありません。
一お店を続けるのに大切なことはなんですか?
和菓子を作るのはとても体力が必要なので健康ですね! 学生の頃はアメリカンフットボールをしていましたし、今でもお店が終わってからスポーツジムに行っています。
一おすすめの商品を教えてください。
餡子です。うちはお店で作っている餡子です。団子は特に餡子を楽しんでいただけたと思います。
一今後の夢をお聞かせください。
毎日元気にお店を続けていくことです。



次号の親仁は・・・?

哀愁漂う後ろ姿から何処の親仁さんだろうと想像してみてください。次号では見返りポーズでお顔を公開します!

若林 顕 セルフ・プロデュース ショパン:全ピアノ作品シリーズ
ショパンを巡る旅 2018-2020《全15回》
 《第2期》11/29、2020.1/31
 以上すべて(金) 各回19:30 若林 顕(ピアノ)
 全席指定
 各回 一般 2,500円/学生 1,500円



©Wataru Nishida

好評発売中

秋のさくらプラザ寄席 第4回
 かのえとらながつき
五人の真打による 庚寅長月の会 戸塚公演
 柳家小せん、蜷気楼龍玉
 三遊亭鬼丸、林家さく麿、入船亭扇里
 11/2(土) 13:30
 全席指定
 一般 2,500円/横浜市民 2,000円



好評発売中

ピアノグランプリ 2019 受賞記念演奏会
 《優秀賞受賞》
 澤井 夏海、藤田 祥子
 稲島 早織・大石 真裕(連弾)
 《審査員特別賞受賞》
 飯島 まゆみ、榎 京子
 11/23(土・祝) 14:00
 全席指定 1,000円



※グランプリ 該当者なし

好評発売中

～世界“最強”のフルーティスト!!～
上野 星矢 フルーツリサイタル
 上野 星矢(フルート)、正住 真智子(ピアノ)
 12/14(土) 14:00
 全席指定
 一般 2,500円/横浜市民 2,000円
 学生 1,000円



好評発売中

鈴木理恵子 室内楽シリーズ Season2
**Vol.11 至高のデュオ ブラームス
 ヴァイオリン・ソナタ全曲集**
 鈴木 理恵子(ヴァイオリン)、若林 顕(ピアノ)
 12/21(土) 14:00
 全席指定 一般 3,000円
 ペア 5,000円/学生 1,500円



©Wataru NISHIDA

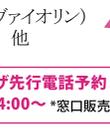
好評発売中

新春さくらプラザ寄席 ^{そしち} 真の漆～
 橋家文蔵、入船亭扇辰
 柳家小せん、春風亭びっかり☆
 鏡味味千代(太神楽曲芸師)
 2020.1/5(日) 13:30
 全席指定
 一般 3,000円/横浜市民 2,500円



好評発売中

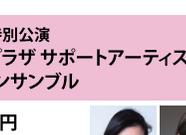
Vol.12 ヴィヴァルディ「四季」
 (最終回) & バロックの名作とハンガリーの民族色溢れる傑作達
 鈴木 理恵子(ヴァイオリン)、デヴィッド・ノーラン(ヴァイオリン)
 安田 謙一郎(チェロ)、曾根 麻矢子(チェンバロ) 他
 2020.3/14(土) 14:00
 全席指定 一般 3,500円
 ペア 6,000円/学生 1,500円



©Wataru NISHIDA

まもなく発売

どこかできつと耳にしたことのある馴染み深い名曲を、
 演奏者の息づかいまで聴こえるような距離で。
名曲サロン シリーズ
Vol.21 ホール特別公演
 11/14(木) さくらプラザ サポートアーティストによる
 弦楽アンサンブル



好評発売中

ピアノコンチェルトを弾き振りで!
気軽にモーツァルト!
 野田 清隆(ピアノ・指揮)
 さくらプラザ オリジナルオーケストラ
 2020.3/21(土) 15:00
 全席指定
 一般 3,500円/横浜市民 3,000円
 学生 1,500円/EX席 1,000円
 (補助席・見切れ席)



©Leonardo Bravo

まもなく発売

14:00 約90分/全席指定 1,000円
 さくらプラザ サポートアーティスト:
 大澤 理菜子(ヴァイオリン)
 早淵 綾香(ヴァイオリン)
 増山 頌子(チェロ)
 賛助出演:
 高梨 瑞紀(ヴィオラ)、白川 優希(ピアノ)

Vol.22 6手のためのピアノ連弾
 2020. ~ザルツブルクで
 2/14(金) ともに学んだピアニストたち～



らららん♪ドレミシリーズ
第1回 10:45/第2回 12:00 会場:リハーサル室
 望月 かおり(パーカッション)、入佐 弥生(ピアノ)
 全席自由 各回 500円(0歳より有料)
Vol.7 0歳から大人まで楽しめるコンサート
 12/19(木) ～リズムで楽しむクリスマスコンサート～
 ※2019年度開催日程については
 チラシもしくはHPをご覧ください。



赤ちゃんも歓迎!

好評発売中

参加無料 **こどものための芸術の学校**
ダンスシアターワークショップ
 12/26(木) ~12/28(土)
 ※詳細はチラシもしくはHPをご覧ください。



スタインウェイを弾いてみませんか?
 憧れのスタインウェイ・フルコンサートピアノを
 さくらプラザ・ホールで弾いてみませんか?
 2020.11/28(火)、2/3(月)、2/20(木)
 応募締切:2019年11月15日(金)必着 ※詳細はチラシもしくはHPをご覧ください。



おたよりコーナー
 掲載された方には、お好きなさくらプラザ主催公演
 チケット*をプレゼント!
 *ご希望に沿えない場合もございます。あらかじめご了承ください。
 ●氏名●掲載用ペンネーム●ご住所●お電話番号を必ず記載の上、郵送もしくはメールにてお送りください。
 ※ご記入いただいた個人情報、当コーナーの目的以外には使用いたしません。※200文字程度におまとめください。
 ※誌面の都合上、原稿を一部修正させていただく場合がございます。



戸塚区民文化センター さくらプラザ
 TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502
 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町16-17戸塚区総合庁舎 4F
 https://totsuka.hall-info.jp
 event@totsuka.hall-info.jp
 編集後記 あと今年も2か月! さくらプラザでは2020年度の企画を進め中です。きっと皆さんに喜んでいただけるはず……お楽しみにお待ちください!(桑田)




Vol.38
11・12月号